

4 - 8 静岡県下の高等学校における地震予知観測について(1)

On the Earthquake Prediction Observation by the Students of High Schools in the Shizuoka Prefecture

京大防災研微小地震部門 静岡県教育委員会
Research Section for Micro-Earthquakes, Disaster Prevention Research Institute,
Kyoto University and Shizuoka Prefectural Board of Education

1978年以來、静岡県教育委員会の企画によって県立高等学校における地震予知をテーマとするクラブ活動が進められている。地震予知観測のモデル校が1978年に5校、1979年に3校指定され、生徒の課外活動として地震予知観測が進められている。観測のための場所の整備・計器類の設置も静岡県の予算で行われており、観測・解析方法の指導やセンサーの開発などは防災研究所が行っている。

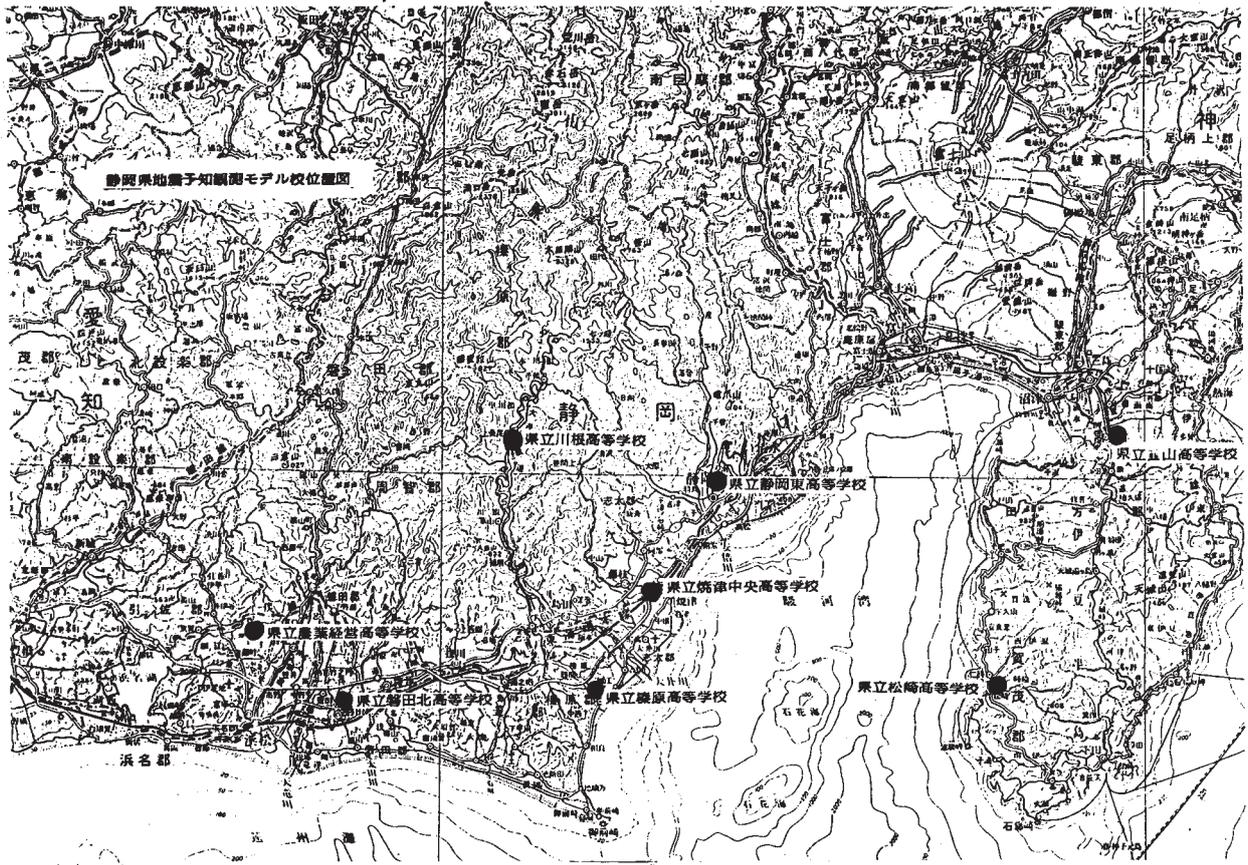
この観測の目的は、主として次のようなものである。

1. 課外活動を通じて地震の科学と地震予知の方法論を生徒たちに学習させる。
2. 観測データは地震予知研究に活用できるだけの十分な精度のあるものを得られるよう指導し、東海地域における観測網を補うものとする。
3. 地震予知観測に対する非専門家の協力に当たっての方式を検討するために種々の試みを行う。

観測はなるべく総合的に実施することとして、水管傾斜計による地殻変動のデータ、水位計による地下水位のデータ、電極を埋設して自然電位の変化データをとることを基本項目としてある。その他の種類のデータは、その学校の特徴に応じて追加する。自然電位については夜間のS/Nの高い時の値を読み取るためにレコーダを用いるが、その他のデータは原則として、1日1回の読み取り方式である。

中の一定時間帯に数mVの精度でデータが得られることがわかった。地下水位については1mmの精度で変化のデータが得られている。水管傾斜計は地表の温度変化の影響を大きく受ける欠点があり、所期の精度が得られていないため、現在方式を改めるよう検討中である。

観測データは、ある程度まとまったものについて今後順次報告する予定である。地震予知観測を実施中のモデル校の位置を第1図に示す。



第1図 静岡県地震予知観測モデル校位置

Fig. 1 Distribution of the extra-curricular observation stations of high schools in the Shizuoka Prefecture.